

2010年3月25日

ランクセス、第4四半期を堅調に終え、業績回復を確信

ランクセス株式会社

- 2009年通年の売上高: 50億5,700万ユーロ
 - 特別項目調整前 EBITDA*¹: 4億6,500万ユーロ
 - 特別項目調整前 EBITDA マージン*²: 9.2%
 - 純利益: 4,000万ユーロ
 - 「チャレンジ 09-12」プロジェクト: 1億7,000万ユーロの経費削減
 - 2009年度配当提案: 1株 0.50ユーロ
 - 今後の見通し: 2010年の好スタートに続いて大幅な収益増加を予測
- *¹ EBITDAは、税引前利益に、減価償却費、および支払利息を加算した金額です。
*² EBITDAマージンは、売上高に対するEBITDAの比率です。

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、2009年度第4四半期と通年の業績を発表しました。第4四半期の好調な業績に続き2010年度は期待できる年と予測しています。この前向きな見通しは、アジア太平洋地域で継続する堅調な伸びと、グループ丸となった経済危機対策プロジェクト「チャレンジ 09-12」がもたらした経費削減によるものです。

ランクセスのCEOであるアクセル・ハイトマンは、ケルン(ドイツ)での2009年度業績発表で次のように述べています。「経済の自立的回復軌道の兆候はまだ見られませんが、ランクセスは前年比で大幅な収益の回復を見込んでいます」

2009年度、ランクセスは予測に違わず世界的な景気低迷により大きな打撃を受けました。連結売上高は、世界的な需要低迷のため、前年比23.1%減の50億5,700万ユーロとなりました。特別項目調整前 EBITDAは4億6,500万ユーロとなり、修正後業績予測範囲(4億5,000万ユーロから4億7,000万ユーロ)の上限に近い結果となりました。2008年度には特別項目調整前 EBITDAは7億2,200万ユーロを達成しています。通年の特別項目調整前 EBITDA マージンは、9.2%(2008年度:11.0%)となり、純利益は4,000万ユーロ(2008年度:1億8,300万ユーロ)となりました。2009年度は、「チャレンジ 09-12」プロジェクトの実施によりグループ全体で約1億7,000万ユーロの経費削減を達成しました。「この業績は、ランクセスが経済危機の一年を無事乗り越えたことを示しています。」と、ハイトマンは述べています。

2009年第4四半期の業績

第4四半期は、ランクセスの通常の季節的傾向に反したものとなりました。今年度末の数週間、アジアにおける堅調な伸びと、欧州および北米のスタッドレスタイヤの強い需要が特にゴム事業を支えました。第4四半期の連結売上高は、13億9,200万ユーロを達成し、第3四半期の13億7,300万ユーロより微増となりましたが、前年同期比では4.8%減となりました。

第4四半期の特別項目調整前 EBITDA は、1億4,400万ユーロを達成し、第3四半期より微増となり、金融危機の影響を受けた前年同期の8,700万ユーロを大幅に上回りました。純利益は1,400万ユーロとなり、第3四半期は2,300万ユーロ、前年同期は純損失3,200万ユーロでした。

地域別の業績

アジア太平洋地域の売上高は、前年比1.3%減の11億4,100万ユーロとなり、2009年度の業績に安定をもたらす主要因となりました。これは、ランクセスの総売上高の22.6%(前年:17.6%)を占めます。アジアにおいて新しい成長の機会を組織的に捉える戦略が功を奏したと言えます。

ランクセスにとってアジア太平洋地域は、**EMEA**(ドイツを除いた欧州、中東、アフリカ)地域に続く最重要地域です。EMEA地域は、前年比29.3%減の15億5,700万ユーロとなり、ランクセスの総売上高の30.8%を占めます。**ドイツ**においては、前年比25.2%減の10億6,300万ユーロとなり、ランクセスの総売上高の21.0%を占めます。**北米地域**の売上高は、前年比27.3%減の7億8,100万ユーロとなり、ランクセスの総売上高の15.4%を占めます。**中南米地域**の売上高は、前年比28.9%減の5億1,500万ユーロとなり、ランクセスの総売上高の10.2%を占めます。

BRICs 諸国に注力するランクセスの成長戦略は成果をもたらしています。ブラジル、ロシア、インド、中国の売上高は、合計10億1,800万ユーロを達成し、ランクセスの2009年度の総売上高の20.1%(前年:16.1%)を占めています。

事業分野別の業績

パフォーマンスポリマーズ部門:世界的な経済危機により売上高が急激に減少しましたが、下半期のアジアにおける需要の好転が減少を緩和し、前年比27.2%減の23億8,800万ユーロとなりました。特別項目調整前 EBITDA は、39.5%減の2億5,000万ユーロとなりましたが、特別項目調整前 EBITDA マージンは、10.5%と2桁台にとどまりました。

アドバンスト中間体部門:売上高は前年比15.7%減の11億400万ユーロとなりました。農薬分野は年間を通じて安定しており、同部門の業績の基盤となりました。自動車関連および医薬品業界の顧客への売上は、微減となりました。特別項目調整前 EBITDA は、前年比17.2%減の1億5,400万ユーロ、特別項目調整前 EBITDA マージンは、前年とほぼ横ばいの13.9%となりました。

パフォーマンスケミカルズ部門: 売上高は前年比 20.7%減の 15 億 3,000 万ユーロでした。いずれのビジネスユニットにおいても販売量の前年比減少は避けられませんでした。特に、自動車関連分野に関わるビジネスユニットが総じて最も影響を受けました。特別項目調整前 EBITDA は、1 億 8,200 万ユーロ(前年:2 億 4,100 万ユーロ)となり、結果、特別項目調整前 EBITDA マージンは前年とほぼ同レベルの 11.9%となりました。

債務の減少

純債務は、7 億 9,400 万ユーロ(2008 年末:8 億 6,400 万ユーロ)まで大幅に減少しました。この減少は運転資本の徹底した管理、投資方針の厳格な適用、営業活動によるキャッシュフローが 14.8%増の 5 億 6,500 万ユーロと大幅に増加したためです。ランクセスの CFO であるマティアス・ツァハトは次のように述べています。「主要指標から、ランクセスはこの危機を順調に乗り越えたことがわかります。」ランクセスは年度末時点で 20 億ユーロ(前年:17 億ユーロ)を上回る流動性を確保しました。

前年と同レベルの配当提案

2009 年度の厳しい情勢にも関わらず、前年と同レベルの配当を維持する予定です。経営委員会メンバーと監査役委員会は、2010 年 5 月 28 日に開催される年次株主総会において 1 株 0.50 ユーロ(前年比同)、総額約 4,200 万ユーロの配当提案をします。

今後の見通し

2010 年の動向は、地域でばらつきを示す経済展望を予測しています。アジアは最も顕著な進展を見せるでしょう。主に中国、インドでは、特にゴム市場において、再び目覚ましい成長が期待されます。中南米地域、そして特にブラジルの経済情勢も好転するとみています。しかし、北米、欧州では、引き続き経済動向の不確実性が根強く残ります。

2010 年は、原料コストが再び高騰すると予測されます。原料価格の急激な下落後、2009 年第 2 四半期に投入原価が再び上昇し始めました。この傾向は 2010 年初頭も継続しています。従ってランクセスは、「販売量よりも価格を優先する」戦略を引き続き推進します。

地域格差はありますが、緩やかな回復が継続し、季節的な収益傾向も通常に戻ると予測しています。ハイトマンは次のように述べています。「2009 年第 4 四半期の業績および新年度の好スタートは、ランクセスの業績回復に大きく寄与するものと確信しています。」ランクセスは、引き続き経済動向のリスクに鑑み、「チャレンジ 09-12」の組織的な実施を継続します。「チャレンジ 09-12」は、利益動向を支えるため、世界的に取り組む経費削減対策プロジェクトです。2010 年には、1 億 4,000 万ユーロの経費削減を見込んでいます。

主要データ

(単位:百万ユーロ)前年度比

	2009年 通年	2008年 通年	変動率 (%)	2009年 第4四半期	2008年 第4四半期	変動率 (%)
売上高	5,057	6,576	-23.1	1,392	1,462	-4.8
特別項目調整前 EBITDA	465	722	-35.6	144	87	+65.5
特別項目調整前 EBITDAマージン(%)	9.2	11.0	-	10.3	6.0	-
純利益	40	183	-78.1	14	-32	n/a

#

これは、ドイツ・レバークゼンで3月17日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2009年の総売上は50億6,000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,300人、世界中に43の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2010-00035J)